



YUTAROU UENO

上野 裕太郎

一関工業高等専門学校
特命助教

SBIRでの 取り組み

磯焼けウニの活用普及に寄与する 閉鎖循環式陸上養殖システム・餌の開発

SBIRでは、「磯焼けウニの活用普及に寄与する閉鎖循環式陸上養殖システム・餌の開発」というテーマで、オゾン浄化技術と寒天包埋飼料を用いたウニの閉鎖循環式陸上養殖システムの開発・事業化に取り組んでいます。自身は、FS/PoCの実施や事業モデルの構築をはじめ、PL的な立ち位置で研究開発に参画しています。

略歴

2023年:Next IWATE代表就任
2023年:(一社)デジタルラボ一関 理事 就任
2024年:(株)東北地域商社 取締役COO 就任
2025年:(株)山竹 取締役 陸上養殖事業戦略本部長 就任
2025年:一関工業高等専門学校卒業、同特命助教 就任

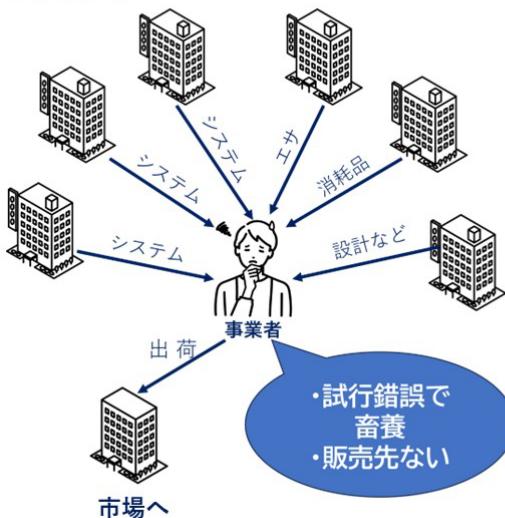
目指すCxO像

現在は、研究開発面では一関高専の特命助教として、事業化としてはNext IWATE代表、山竹取締役として取り組んでいる。将来的には、共同での法人設立を視野にいれており、CEOとして国内外への事業展開に取り組んでいく。

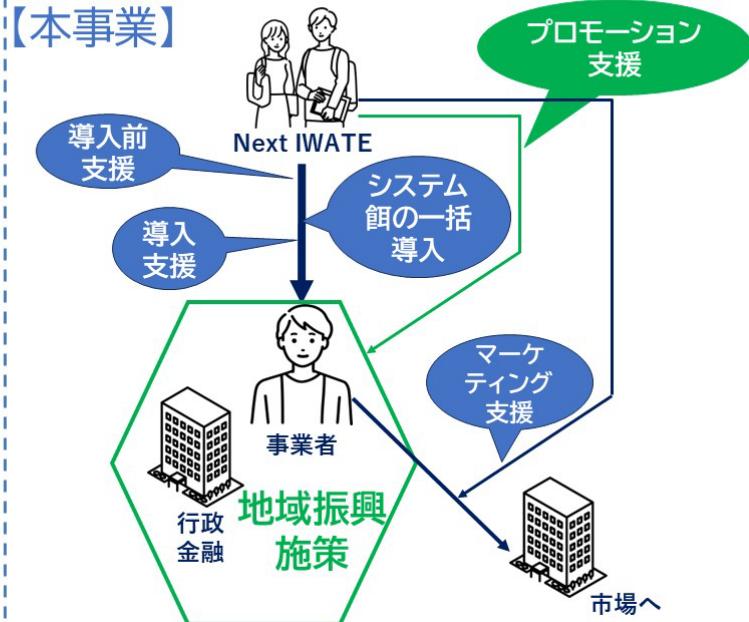
ビジネスモデル

研究開発プロジェクト 展開するサービス

【従来】



【本事業】



技術シーズ

将来展望 コンパクトかつシンプルな本システムを目指すところ

HOP

沿岸～内陸への広がり
国内全域に養殖・蓄養の輪を広げ、
藻場の保全→温暖化防止に寄与



STEP

北海道～世界への広がり
コンパクト化が可能で簡単
…移動式システムによるさらなる高効率化&深化



JUMP

他の魚種、地球外への広がり
温暖化対策に即効性なし
…他の魚介類養殖への拡張、新たな魚介類生産スタイルの浸透・定着を図る

